

# すわみつえ通信

No.98 2019年11月11日(月)

日本共産党鴻巣市会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

「鴻巣市社会保障をよくする会」は、11月5日(火)に「消費税がもつ悪税の本質」と題して、桶川北本民主商工会事務局長を講師に学習会を開催しました。すわみつえ市議は事務局として参加しました。

## ●中小業者泣かせ



消費税学習会=11月5日

消費税を負担しているのは「消費者」であることは間違いありませんが、消費者は税務署に収める消費税の計算をしていません。実質的に消費税を負担しているのは「事業者」です。利益がなくとも納めなくてはならない消費税に中小業者の苦悩があります。さらに年度途中の税率改定で9月末までは8%、10月からは8%と10%の計算で消費税額を出すために膨大な業務に追われています。

## ●天下の悪税・消費税を5%に引き下げる運動を

中小企業は日本経済の根幹であり、企業の99.7%を占め、働く人の3人に2人が働いている雇用の担い手でもあります。消費税が中小企業泣かせています。消費税が中小企業泣かせで所得の低い人により重く負担を強いる天下の悪税であることは確かに一緒に声をあげましょう。

従業員への給与は非課税のため、仕入れ税額控除ができません。直接雇用でなく、外注扱いにすれば仕入れ控除が可能になり、社会保険の事業者負担がなくなります。こういったことからますます派遣労働や請負労働が増えています。

## ●鴻巣革新懇総会に参加



一方では、大企業に対する徹底した優遇税制です。「輸出した製品に対する消費税が還付される」ため、トヨタは今まで消費税を納めたことがありません。5%から8%に増税され、増税分の税収の16%しか社会保障に使われていません。大企業・富裕層の減税のための穴埋めに使つたのが明らかになりました。

# 「消費税5%引き下げよ！」の声ひろげよう

## ●大企業優遇と輸出促し税で社会保障にはやめよう

一方では、大企業に対する徹底した優遇税制です。「輸出した製品に対する消費税が還付される」ため、トヨタは今まで消費税を納めたことがありません。5%から8%に増税され、増税分の税収の16%しか社会保障に使われていません。大企業・富裕層の減税のための穴埋めに使つたのが明らかになりました。

武村正義滋賀県知事、稻嶺進前沖縄県名護市長などの呼びかけで、全国の現職・元職の自治体首長らによる「全国首長九条の会」が結成されることになつたという報道に勇気が出ます。

## ●憲法9条守れの共同行動

## 税金でおもてなし 桜見る会を安倍後援会行事に



桜を見る会で地元・山口県の後援者らと記念撮影する安倍首相夫妻＝4月13日、東京・新宿御苑（自民党の島田教明・山口県議のブログから。画像は一部加工）

日本共産党の田村智子議員は11月8日の参院予算委員会で、安倍晋三首相をはじめ、自民党の閣僚や議員が、首相主催の「桜を見る会」に地元の後援会員を多数招いている実態を突き付け、安倍首相の認識を追求しました。安倍首相はまったく答えられず、税金でまかなく公的行事が安倍内閣のもとで私物化されていく実態が浮き彫りになりました。

## 税金私物化 大量ご招待

参加範囲は「功労・功績者」のはずが

## 潮流

## 参院予算委 田村氏の追及で浮き彫り



質問する田村智子議員  
＝8日、参院予算委

海外でスポーツの国際大会を取材したときのこと。荷物検査の機械が故障し、観客らは素通り状態。大丈夫なのかと不安を覚えた記憶があります▼安倍首相が桜を見る会を地元後援会の恒例行事にしてきたことを追求した共産党の田村智子議員の国会質問を見て。毎年会場の新宿御苑内で開門前に後援会員と記念撮影していくことを問われた首相は、セキコリナイーにかかわるからと答えを拒みました▼「手荷物検査もしないで大量に人が入つたら、それこそセキコリティー上問題だ」。テロ対策で支出が増えていると言い訳しながら、検査も受けなかつたという後援会員

# 社說

## Editorials

朝日新聞 2019年11月7日付

の証言を示した田村議員は、  
にがセキコリティーカと▼税  
を使った公的行事に堂々と参  
援会の人たちを接待する実態  
本紙曰曜版の報道や証拠をも  
げて迫った質問に、答へにもむ  
らない答弁を延々と繰り返す  
招待者にかかる書類は破棄

両氏には閥僚としての資質を危ぶむ声があつたが、首相は「適材適所」の任命だったと強調。辞任という結果に「責任を痛感している」としながら、その責任の果たし方については「行政を前に進めることに全力を尽くす」の一点張りだった。辞任の理由となつた疑惑について、両氏はいまだ公に説明していない。指導力を發揮するよう求める野党に対し、首相は「政治家として自ら説明責任を果たすべきだ」と、本人任せに終始した。これではとても、首

試験の導入見送りにも共通する。妥当ではあるが、遅すぎた決断に、多くの受験生や保護者、高校の教員らが振り回された。にもかかわらず、首相は「萩生田光一文部科学大臣の判断」と述べるだけで、政権全体としてこの問題を引き受ける姿勢は見られなかつた。首相の設けた教育再生実行会議が6年前に方向性を決めた「改革」であるにもかかわらずである。

与党側は「前例がない」として取り合わなかった。それどころか、自民党の質問者は両氏を「見識、人物ともに信頼できる方」と持ち上げるありさまで、安倍政権では、疑惑をもたれて要職を辞した政治家が、その後、説明責任を果たさぬまま、復権を果たす例が相次いでいる。今回の連続辞任も、しばらくすれば国民は忘れてくれるだろうと高をくくっているのだとしたら、同じ過ちが繰り返されてもおかしくはない。

就任間もない重要閣僚の連続辞任という異例の事態を、どこまで深刻に受け止めているのか。安倍首相が認める「任命責任」は口だけと言うほかない。衆院予算委員会の集中審議がきのう開かれた。菅原一秀経済産業相と河井克行法相の辞任を受け、首相がどんな見解を示すかが最大の焦点だった。

相のめざす「国民の信頼回復」にはつながるまい。そもそも、2012年の政権復帰以降、疑惑や失言などで辞任した閣僚は10人にのぼる。lığını反省し、教訓をくみ取つていれば、事態はこれほど繰り返されなかつたはずだ。

ひとことのよう答弁は、士学入党共通テストへの英語民間問題

始まつたことではないが、政権の政治姿勢が問われている集中審議のさなかに、不見識ぎわまるふるまいである。

野党側は、辞任した2閣僚の参考人としての出席を求めていた。両氏とも国会で予定されていた質疑を前に辞表を提出し、何ら疑問に答えていないのだか

## 首相国会答弁

## 「任命責任」は口だけか

私の区別もつけず、法やルールも無視。民意を顧みず、自分のやりたい放題に権力を悪用する首相。田村議員は怒りを込めて。「まさに内閣のモリルハザード（倫理や道徳の崩壊）は、あなたが起らしてしまった」と、[「しんぶん赤旗」11月10日付]